

テーマ：献身的に伝道する者として成長し続けていくために

※マタイ 4:19

「イエスは彼らに言われた。「わたしについて来なさい。あなたがたを、人間をとる漁師にしてあげよう。」

※使徒 9:15-16

「しかし、主はこう言われた。「行きなさい。あの人はわたしの名を、異邦人、王たち、イスラエルの子孫の前に運ぶ、わたしの選びの器です。彼がわたしの名のために、どんなに苦しまなければならないかを、わたしは彼に示すつもりです。」

○キリスト者が励む伝道：振る舞いと言葉

1. 振る舞い(5)

1) _____ (5a)

▶「外部の人」

※コロサイ 2:6-7

「あなたがたは、このように主キリスト・イエスを受け入れたのですから、彼にあつて歩みなさい。キリストの中に根ざし、また建てられ、また、教えられたとおりの信仰を堅くし、あふれるばかり感謝しなさい。」

▶「振る舞う」

※ローマ 13:12-13

「夜はふけて、昼が近づきました。ですから、私たちは、やみのわざを打ち捨てて、光の武具を着けようではありませんか。遊興、酩酊、淫乱、好色、争い、ねたみの生活ではなく、昼間らしい、正しい生き方をしようではありませんか。」

▶「賢明に」

※コロサイ 1:9-10

「こういうわけで、私たちはそのことを聞いた日から、絶えずあなたがたのために祈り求めています。どうか、あなたがたがあらゆる霊的な知恵と理解力によって、神のみこころに関する真の知識に満たされますように。また、主にかなった歩みをして、あらゆる点で主に喜ばれ、あらゆる善行のうちに実を結び、神を知る知識を増し加えられますように。」

「外部に対して賢明に振る舞いなさい。いつも覚えていてください。聖書を読む者は少ないかもしれませんが、全ての者があなたを読んでいるのです。」(ウィリアム・ヘンドリックセン)

※マタイ 5:14-16

「あなたがたは、世界の光です。山の上にある町は隠れる事ができません。また、あかりをつけて、それを柀の下に置く者はありません。燭台の上に置きます。そうすれば、家にいる人々全部を照らします。このように、あなたがたの光を人々の前で輝かせ、人々があなたがたの良い行いを見て、天におられるあなたがたの父をあがめるようにしなさい。」

2) _____(5b)

▶「十分に生かして用いなさい」

▶「機会」

※ガラテヤ 6:9-10

「善を行うのに飽いてはいけません。失望せずにいれば、時期が来て、刈り取ることになります。ですから、私たちは、機会のあるたびに、すべての人に対して、特に信仰の家族の人たちに善を行いましょう。」

「福音の評判が、その救いの力を経験したと主張する人々の振る舞いに結びついていることは今も変わらない真実です。自分で聖書を読んだり、神の言葉の説教を聞いたりしない人でも、それを行う人々の生活を見て、判断を下すことができます。それゆえクリスチャンは、今という機会を最大限に用いるようにしましょう。」(FF・ブルース)

※詩篇 90:12

「それゆえ、私たちに自分の日を正しく数えることを教えてください。そうして私たちに知恵の心を得させてください。」

2. 言葉(6)

▶「ことば」

▶「いつも」

1) _____あること

※ルカ 4:21-22

「イエスは人々にこう言って話し始められた。「きょう、聖書のこのみことばが、あなたがたが聞いたとおり実現しました。」みなイエスをほめ、その口から出て来る恵みのことばに驚いた。…」

※ルカ 23:34

「そのとき、イエスはこう言われた。「父よ。彼らをお赦してください。彼らは、何をしているのか自分でわからないのです。」

※1 ペテロ 2:23-24

「ののしられても、ののしり返さず、苦しめられても、おどすことをせず、正しくさばかれる方にお任せになりました。そして自分から十字架の上で、私たちの罪をその身に負われました。それは、私たちが罪を離れ、義のために生きるためです。キリストの打ち傷のゆえに、あなたがたは、いやされたのです。」

2) _____であること

※1 ペテロ 3:15-16

「むしろ、心の中でキリストを主としてあがめなさい。そして、あなたがたのうちにある希望について説明を求める人には、だれにでもいつでも弁明できる用意をしていなさい。ただし、優しく、慎み恐れて、また、正しい良心をもって弁明しなさい。そうすれば、キリストにあるあなたがたの正しい生き方をののしる人たちが、あなたがたをそしったことで恥じ入るでしょう。」